

# 議会通信

AUGUST.2021

臨時特別号



# カタチ 市民の声を政策に。提案を続けます!!



**私** たちは、働く者・生活者の目線で議会活動に取り組んでいる会派です。福岡市民クラブは現在、それぞれ立憲民主党、社会民主党の党籍を持つ者と無所属の計10名の福岡市議会議員で構成されています。

2019年4月施行の市議会議員選挙でお示した『会派基本政策2019』に基づき、その実現に向けて全員一丸となって取り組むと同時に、市長の提案に対しては、皆さんの声に耳を傾けながら「是々非々」の態度でのぞみ、健全な二元代表制に向けて議会の役割を果たすため努力を続けております。私たち市議会議員は、みなさまからの負託を受けて議会で発言する「代弁者」であると同時に、この福岡市で暮らし、皆さんとともに地域社会を支える「地域の一員」です。

今特別号では、福岡市民クラブの日頃の活動の一端を広くお伝えし、それぞれの行政区で活動する所属議員に気軽にお声がけいただくきっかけになれば幸いです。

私たちはこれからも、みなさまから寄せられた一つひとつの声を議会に届けるとともに、その実現に向けて地道にひたむきに取り組んでまいります。

福岡市民クラブ一同

## ご相談はお近くの議員へ!

### ～所属議員紹介～

下記の項目と合わせてご紹介いたします

- ① 所属する常任委員会
- ② 私の趣味は〇〇です。
- ③ 学生時代の活動は〇〇です。
- ④ 事務所の所在地と連絡先



東区 3期

### 落石 俊則

子どもと市民の笑顔をつくるため働きます。

- ① 経済振興委員会
- ② アウトドア・キャンプ
- ③ 大:歴史研究部・考古学
- ④ 東区奈多1丁目10-12  
TEL.092-606-4541 FAX.092-606-6878  
Mail:info@ochiishi.jp



東区 1期

### つちはら 陽子

子ども達にもっと投資を! 二児の母 がんばります。

- ① 教育子ども委員会
- ② テニス・裁縫
- ③ テニス部
- ④ 東区筥松2丁目6-9 パアハウスカミング101  
TEL.092-624-8777 FAX.092-624-8778  
Mail:rikken.yk@gmail.com



博多区 1期

### 山田 ゆみこ

ゆめのある みらいのために がんばります

- ① 福祉都市委員会
- ② ドライブ・料理
- ③ スピードスケート
- ④ 博多区浦田1-19-10 TAKEビル1F  
TEL.092-504-0388 FAX.092-982-4736  
Mail:rikken.yamada@gmail.com



中央区 4期

### 田中 しんすけ

代表 今日も明日も明後日も、胸を張って元気よく!!

- ① 生活環境委員会
- ② スポーツ全般・読書・食堂巡り
- ③ 中:野球部 高:バレーボール部
- ④ 中央区平尾5丁目4-36 アイ・アンド・エル平尾2F  
TEL.092-521-3650 FAX.092-521-5221  
Mail:info@tanakashinsuke.jp



南区 2期

### 近藤 里美

政調会長/議運理事 誰もがイキイキと心豊かに暮らせる福岡市へ

- ① 福祉都市委員会
- ② 唄うこと・読書
- ③ 高:合唱部 大:軽音部
- ④ 南区大橋2丁目13-15 みのはらビル2F  
TEL/FAX.092-541-7373  
Mail:satomi-kondo@fukuokashimin.jp



南区 1期

### 成瀬 えみ

総務会長 いちばん身近で頼れる存在へ!

- ① 総務財政委員会
- ② キャンプ、チラシ作成
- ③ 生徒会、山岳部、YMCA
- ④ 南区玉川町12-3 川上ビル201  
TEL/FAX.092-408-1920  
Mail:eminaruse@gmail.com



城南区 1期

### 井上 まい

「寄り添う政治」をモットーに活動中です!

- ① 経済振興委員会
- ② カラオケ、ソフトバレー
- ③ 陸上部(混成7種競技)
- ④ 城南区東油山1-1-16 東野ビル1F  
TEL.092-874-2601 FAX.092-874-2602  
Mail:info@inouemai.jp



早良区 1期

### 宮浦 寛

幹事長 「一隅を照らす」ひとりが輝き、社会も輝く!

- ① 総務財政委員会
- ② 建物の間取り図を描くこと
- ③ 剣道部
- ④ 早良区田隈1丁目7-4  
TEL/FAX.092-203-2007  
Mail:ah2007office@yahoo.co.jp



西区 4期

### 池田 良子

副代表 いきいきわくわく そんな未来を子どもたちに!

- ① 教育子ども委員会
- ② 寄席・フラワーアレンジメント
- ③ 大:落研・障がい児問題研究会
- ④ 西区野方2-13-3  
TEL.092-812-3447 FAX.092-812-3449  
Mail:nukumori\_anshin06@yahoo.co.jp



西区 1期

### 田中 たかし

議会運営委員 脂が乗った44歳。私を使い倒して下さい!

- ① 生活環境委員会
- ② 熱帯魚飼育・ビリヤード
- ③ 高:バドミントン
- ④ 西区徳永北14-27  
TEL/FAX.092-407-6236  
Mail:tanakatakashi.office@gmail.com

## 福岡市民クラブ

〒810-8620  
福岡市中央区天神1-8-1  
福岡市庁舎議会棟  
福岡市民クラブ議員控室  
Tel:092-711-4736  
Fax:092-732-4055  
http://fukuokashimin.jp/

- ホームページ
- フェイスブック
- インスタグラム
- ライン
- ツイッター
- ユーチューブ



## 福岡市民クラブは...

私たち「福岡市民クラブ」は、これからの4年間を見据えて、生活保障戦略、成長戦略、地域主権戦略、共生戦略の4つを大きな柱として、福岡市政の改革に必要な取組を「会派基本政策2019」として取りまとめ、2019年2月に公表し、その実現に向けて鋭意取り組んでいます。

ここでは、市民の皆さまにお約束した政策がどのような内容であるのか、また、どのような取組みを通じて実現する道筋をつけているのかについて、お伝えします。

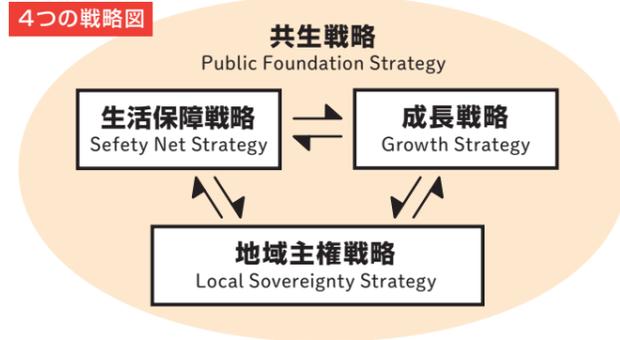


▲本会議場で発言する福岡市民クラブ

### 会派基本政策を支える「4つの柱(戦略)」

私たちが作成した「会派基本政策2019」は、「生活保障戦略」「成長戦略」「地域主権戦略」「共生戦略」の4つを大きな柱としており、それぞれ相互に関係性を持ったものです。市民の暮らしを守る生活保障に必要な施策に充当するための財源を、本市の特性を踏まえた成長戦略で新たに生み出す。そして、生み出されたその財源を地域主権戦略の観点から、これまで以上に市民の声を反映させる仕組みの下で分配していく。さらに、これらの健全な循環を支えるため、市民の力を高め合い、認め合うために必要な公共基盤の強化、すなわち共生戦略関連施策の推進を図っていくという都市経営理念に支えられています。(右図参照:4つの戦略図)  
それぞれの戦略は複数の項目、施策から成り立っており、全体

で84項目144施策にのぼり、本市の発展にとってはどれ一つ欠かすことのできない施策です。



## 政策の実現に向け「行動」と「刷新」を続けています ~私たちのPDCAサイクル~

私たちは、会派基本政策の実現に向け、議会で提案し理解を求め、進捗状況を確認した上で、市民の皆さまに報告と情報交換を行ない、新たな課題も盛り込んだ上で、次の提案につなげるというサイクルを続けています。

12月、次年度予算の策定に向けて会派基本政策をベースとした「予算要望」を市長に提出。年4回の議会において必要性を訴え、提案を続けます。

提案

進捗状況  
の確認

毎年、予算要望から各種議会活動を振り返り、「会派基本政策2019」のすべての項目・施策に関する進捗状況を確認します。

いただいた「声」をもとに、会派基本政策と合わせて、新たに生じた課題について、次年度の予算要望に盛り込み、次年度の活動につなげます。

政策立案と  
次なる提案へ

報告と  
情報共有

11月、議会活動報告会を開催し、一年間の活動の振り返りと、政策の進捗について報告します。同時に、様々な角度からご意見、ご要望を伺います。

### Information

【第10回 議会活動報告会を開催します!】  
感染症対策を講じつつ行いますので、お気軽にお立ち寄りいただけましたら幸いです。

【日時】 令和3年11月10日(水) 19:00~20:30

【場所】 TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール  
福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館 16F

## 「市民の声」を力ぐ手にしました! ~コロナ禍の要望を実現~

長期間の学校休業、外出自粛、飲食店等の休業・時短要請など、新型コロナ感染対策のため講じられた措置により、市民生活は大きな打撃を受けました。この間私たちは、皆様から寄せられた不安や疑問、課題をもとに、市長・教育長へ5度の提言要請、各種コロナ対策に要する補正予算案の議論等を通じて、多くの要望を実現しました。ここでは、その一端をご紹介します。



▲市民の声をいかした提言・要望を市長に提出。

### 保健福祉分野

#### #ホテル療養施設の確保、#相談窓口の充実、#ワクチン接種体制の構築

市内の病床は確保されているのか? いつになったら入院できるのか心配。自宅待機中は、支援してもらえるの?

感染症対応医療機関が限定されていたこともあり、多くの方から療養に関する不安の声をいただきました。当初、県指定の医療機関と病床数では、不足することが目に見えていたことから、民間ホテル等の協力を得た軽症者や無症状者の療養体制の整備を実現。提供事業者に対する風評被害対策も含めた補償についても要望しました。また、入院・療養施設が満床のため自宅待機となる事態には、健康観察に必要な機器の貸与と、必要な食料品の送付を実現しました。



相談窓口が新設されたが、電話が繋がらない。検査後の対応など、保健所からの連絡が来ない...

福岡市ではいち早く相談ダイヤルが設置されましたが、本当に多くの方から「繋がらない」という声をいただきました。一次窓口である電話回線の増設はもちろん、感染が急拡大する中で、保健所機能の維持強化のため、保健師等の感染症対策に従事するスタッフの増員を実現。本庁と各区保健所との役割分担の見直しや

応援体制の構築など、体制強化をはかってきました。

これらは、生活困窮者に対する相談窓口やフォロー体制の強化、ワクチン接種に関する相談窓口の早期開設、予約窓口の電話回線の準備など、他の事業にも活かされてきました。



高齢者が安心してワクチンを接種できる会場確保を。市民生活に密接な事業従事者の確実な接種体制を!

今年1月の提言では、高齢者も安心してワクチン接種が行なえるよう市内に複数の会場確保などを求めました。当初の会場はマリンメッセのみでしたが、全7区の会場稼働と合わせ、身近なクリニックでの接種をベースとしたことで、より安心してワクチン接種を受けられる体制を実現。

市の独自優先接種では、介護従事者をはじめ、子ども達と接する教職員や保育士等が対象とされました。7月から、公共交通機関の従事者を対象に加えることが実現し、市民生活に密接な事業者の皆さんがより確実にワクチンを接種できる体制を整えつつあります。



### 経済分野

#### #テレワーク導入支援 #要請対象外への支援

テレワークにしろと言われても、簡単には変えられない! 設備・備品の導入コストを賄うのは難しい...

事業者に対しテレワークへの協力要請が出される一方で、導入が困難な中小事業者から多くの声が届きました。新たにテレワークができる環境を整備できるよう、導入サポート企業の紹介や、必要な設備投資に対する財政支援を行うよう要望しました。その結果、サポート企業のコンサルティング費用の助成、設備・備品の購入費用の一部負担を実現。想定を上回る約2200件の事業者が利用。今回の導入を機にコロナ禍における事業継続につながったものと思われます。



休業する飲食店などには家賃助成など手厚いが、要請対象外の事業者には支援が無いのは不公平だ!

昨年4月、休業要請対象の飲食店等に対し、本市独自に家賃支援などの支援策が実施されました。休業要請対象外の中には、外出自粛の影響により大幅に売上が減少した事業者も多く、それらを対象とする支援策を設けるよう要望。その結果、休業要請対象外の施設に対する独自支援金の支給を実現。現在、国も要請対象外業種への支援策を実施しており、本市は追加支援を続けています。しかし、要請の「対象」と「対象外」とでは支援の差があまりにも大きいため、引き続き支援策の拡充を求めています。



### 教育・子育て分野

#### #テレビ授業 #乳児の個別検診

新年度が始まって休校続き。勉強についていけない心配。wifiのない家庭でも学習動画が見られればいいのに!

学校再開の目途が立たず、保護者や子どもたちから学習面を心配する声が上がっていました。学習動画がインターネット配信されていたものの、各家庭の通信環境等の課題も多くあげられたことから、多くの子どもたちが視聴可能なテレビ放送を活用した学習支援を要望しました。その結果、福岡県内では初となるテレビ授業が実現。民放2社の協力のもと、学習動画が放送されました。学校の再開後は、タブレットの一人一台配布の前倒しを実現し、感染の再拡大による休校や学級閉鎖においても、子ども達の学習環境が安定的に維持されるようになりました。



コロナ感染が怖くて、乳児の集団検診には行けない! 負担なく個別に健診を受けられたいのに...

4か月児健診は、乳児の発育・栄養状態の確認をはじめ、育児不安を抱える親御さんの相談の場、虐待防止の上でも重要な役割があり、福岡市ではかねてから集団検診で実施していました。一方、感染リスクから受診をためらう方も多く、安心安全な4か月児健診の実施を求める声が寄せられました。

医療機関で受診できれば感染のリスクが減らせるため、令和2年5月から4か月児健診の個別健診を実現しました。

